



妙教寺だより

第44号

平成30年 元旦

但行 礼拝



平成三十年

平地木 戊戌歳

元旦

年頭のご挨拶

妙教寺第七世

順信院日薫

荒木英知

初頭の宗祖の遺訓

夫信心と申すは別にはこれなく候、妻のをとこをおしむが如くをとこの妻に命をすつるが如く、親の子をすてざるが如く・子の母にはなれざるが如くに、法華経釈迦多宝・十方の諸仏菩薩・諸天善神等に信を入れ奉りて南無妙法蓮華経と唱へたてまつるを信心とは申し候なり

『妙一尼御前御返事』

平成三十年戊戌歳の初春を迎え、檀信徒護持会会

員の皆様に関心から新年のお喜びを申し上げます。

昨年は、檀信徒の皆様より、當山の年間の種々の

「月施餓鬼会」及び、「信行会」などの諸行事や福岡

県宗務所主催の「お題目の集い」や西門中会主催の

「海上施餓鬼会」や「熊本地震見舞団参」などのご縁

を結ばれ、護持興隆の為やまた、護持会費納入や宗祖

御降誕八〇〇年慶讃記念事業などのご報恩ご浄財

喜捨によって、昨秋、第二期事業（慶讃事業委員会より事業報告詳細は別紙）が

推進し、新たな年を迎え皆様方の一層のご支援を頂き、衷心より御礼申し上げます

ます。

丁酉歳を振り返ると、国内外を見ると、社会・日本・世界で悲惨で不幸な事件が頻発し、混沌とした世相を映し出し、いよいよ混迷の度を深め不安がおおいう年でした。

二〇十八年の戊戌歳を迎えるにあたり、一人ひとりが真に幸せになり、「立正安国」の平和な世の中・世界を築くことができる方途はただ一つ、ご本佛様や日蓮大聖人様の佛法を広く弘める「二天四海皆帰妙法」の実現以外にはございません。

本年度の目標達成へ

又、来る、平成三十三年に宗祖に対するご報恩の

誠を捧げる「日蓮大聖人御降誕八〇〇年慶讃年の御正当年」を迎えますが、當山のご報恩・第二期慶讃整備事業や當山御降誕八〇〇年慶讃大法要等の奉行や平成三十年十一月二十八日に（於）福岡サンパレスにて開催される「日蓮大聖人御降誕八〇〇年九州教区大会」や菩提寺の年間諸行事など、伊藤敏夫筆頭総代護持会会長様を中心に役員一同は異体同心の決意を新たにしてお寺の護持運営と慶讃記念事業の達成円成することを願っております。

信心は人生の道なり

巻頭の宗祖のご遺文は、大聖人が「信心と申すは」

の信心の基本について御指南であります。

今の言葉で表すと以下の御言葉になります。

「信心というのは、特別これといって難しいものではありません。」

信心とは、人間性をはなれた特別のことをいうのではなく人間性に立脚し人間性を出発点とすることである。

例えば、夫が妻をいたわるように、妻が夫を支えるように、親が子供を慈しむように、子供が親にしがみつくように、本来自然になすべきものであります。

法華経・釈迦・多宝・十方の諸仏菩薩・諸天善神等に対し、絶対の信を捧げ、御題目をお唱えさえすればよいことです。これが信心というものであります。

それだけではなく、仏になる道には、我慢偏執の心なく直な心を持っていきなさい。また、法華経方便品の「正直に方便を捨てて」又法華経譬喩品の「乃至、余経の一偈をも受けざる有らん」の経文を、ちようど女の人が身から鏡をはなさないように、また男の人が刀をいつもさしているように、瞬時も捨てないで考え実行していきなさい。」

この御遺文にて大切な教えは、諸仏諸天に絶対の信を南無（帰命）し持つことです。

揺るぎ無い強く信じる心こそが、信仰心の根本です。信の根本なくして、信仰心はないのであります。そして末法万年の世に



2021年（平成33年）

宗祖日蓮大聖人
御降誕800年

生きる私達にもかくあるべしとご教示なさっておられるのだとも拝するであります。

我慢偏執の心なく

また、「凡そ妙法蓮華経とは我等衆生の仏性と、梵天、帝釈等の仏性と、文殊、弥勒等の仏性と三世の諸仏の解の妙法と一体不二なる理を妙法蓮華経と名けたるなり。(中略)我が己心の妙法蓮華経を本尊とあがめ奉りて、我が己心中の仏性、南無妙法蓮華経とよびよばれて、顕れたも給う処を仏と云うなり。(中略)若

暫くも持つ者は我即ち歡喜す諸仏も亦然り(中略)仏になる道には、我慢偏執の心なく南無妙法蓮華経と唱え奉るべき者なり。」と 法華初心成

仏抄にご教示されていますように、私ども聖徒は、お題目の信仰に導いて下された、日蓮大聖人の弘教の志を受持したもち、その志を伝え続けんと法華経を信じ我慢偏執の心なく、御題目を一心に唱え題目を唱える人々の和を更に大きく広げるお手伝いを誓いたいと存じます。

本年こそ、お題目の信仰に導いて下された、日蓮大聖人さまの弘教の志をたもち、その志を未来に伝え続けんと、我も「弘通の人」となることを誓い、そして、内にては、「慈をもつて身を修める」ことから始まりそして「恩を知ること、感謝を知ること、優しさを知ること、許す心を知ること、命の大切さをしること、許す心を知ること、命の大切

さ知ること。」の心を会得して、平等大慧の心で、我慢偏執の心をなくして、現世安穩・後生善処を求めては「お題目」を受持し一心に唱えることこそは、宗祖が、「法華経を語り申さんものは、教主釈尊の御使なり。」(四糸金吾殿御返事)とご教示されているように、御遺訓を心肝に染め、自行化他の信心に励み、仏子の自覚をもつて、教主釈尊の御使として「聖徒の本分」を尽したいと存じます。

いのちに合掌のいのり

いをしていくことこそ、日蓮大聖人御降誕八〇〇年慶讃記念で、日蓮宗宗門が提唱するところの、「いのちに合掌」の意義であります。

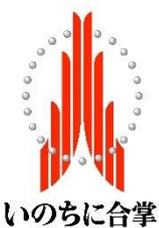
今年も、受け難き人身、値い難き仏法に遭い合えたことに感謝し、積功累徳をかさねて護法護持のため、檀信徒聖徒各位の一層のご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

南無妙法蓮華経

一心合掌

さらに、聖徒の人材育成

を目指し、家庭や地域社会へ、お題目を唱える人々の和を、大きく広げるお手伝



開運星祭り・守護神祭

来る、正月八日（成人の日）、當山では、「開運星祭り・守護神祭」や「年始お施餓鬼供養会」並びに「福引き大会」が奉修されます。たとえ忙しくとも必ずご家族で参詣するよう心がけて、皆様と共に、ご先祖様へ積善の功德を送り報恩のまことをささげたいと存じます。

尚、日々のお参り必携の妙教寺檀家袈裟・念珠と経本・行衣（経帷子）など着帶しご参拝下さい。

當山

福引特別賞品

提供について

※ 当日、「初春福引大会」をいたします。

※ 例年の通り賞品を募集いたしますので、ご提供

供下されば幸甚です。

※ 尚、賞品は、個人名・

企業名を發表いたし特別賞とします。

※ ご提供の賞品は、都合上、前日までお届け下さい。

※ ご提供者の方は、前日までご一報頂ければ参上いたしお預かりいたします。

妙教寺護持会

妙教寺婦人会

妙教寺信行会



各会よりご挨拶

護持会会長・筆頭総代

伊藤 敏夫



熊本震災復興支援参拝団に参加された伊藤会長（2列目中央）熊本城にて

加取り組むことができた。

特に昨年九月二十九日・三十日一泊二日で行われた熊本震災復興支援団参では、甚大な被害を受けた熊本城はもとより加藤清正公ゆかりの日蓮宗本妙寺をはじめ山鹿圓頓寺、阿蘇神社等の被災地を訪れ現状を目の当りに見る事が出来

明けて

おめでとうございます

昨年は檀信徒の皆様のご協力により年間行事を

はじめ日蓮宗西筑組門中会主催の「海上施餓鬼・お題目のつどい」や「熊本震災復興支援参拝団」等に参

ました。新ためて被災地の復興とそこで生活をして

いる方々の幸せをご祈願させて頂きました。人生は山あり谷ありでややもすると目標を失いがちです。こういう境地を乗り越えるためにはお祖師様の教えを守り、しっか

りお題目をお唱えし自身に活力を与える必要があると思います。

本年も妙教寺の発展拡充をはかる為に更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が檀信徒の皆様にとりまして良い年でありますようご祈念いたします。

南無妙法蓮華經

婦人会会長 植村 徳



写経修行される植村会長

新年明けまして

おめでとうございます

昨年一年間皆様のご協力で様々な行事をさせて頂くこと出来ました。心より感謝申し上げます。

その中で有難く思えることは行事を通して打ち

解け合い、又、心をつなぎ

合い、事にあたれば、そこ

にあるのは何にも代えが

たい笑顔が有る（生れる）

ことでした。元寇園教会の

芋掘りでは私自身も老い

を感じることなく皆さん

からたくさんの元気をい

ただきました。

自分達の菩提寺である

妙教寺を護って行くため

には、子から孫と次世代へ

引き継いでいく事こそ大

切なことではないのではな

いかと思っております。

妙教寺でも何か家族で

参加でき楽しめる行事を

ふやしてはどうかと思い

ました。

本年も、お上人様方のご

指導をいただき檀信徒の

皆様方と共に健康に気を

付けてこの年を送りたい

と思っております。

又、寒さの厳しい折、一

月二十一日（日）婦人会主

催の寒修行となっており

ます。一人でも多くの方に

参加頂きますようお願い

申し上げます。（詳しくは

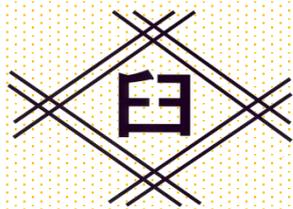
お寺からのご案内をご覧

下さい。）

皆様方のご健康を祈念

いたします。

南無妙法蓮華經



早い仕事より確かな仕事、技術と信用の

(有) 白井組

建設業

〒811-2108 福岡県粕屋郡宇美町ゆりが丘 4-3-9

TEL 092-932-7397

信行会会長

松尾 勝次



檀信徒総会にて報告される松尾会長

あけまして
おめでとーございませう

新春を迎え皆様のご
多幸を謹んでお祈り申し
上げます

昨年中は皆様方のご理
解とご支援を賜り会活動
を終える事が出来ました。
ありがとうございます

合掌



信行会主催特別講演でご法話
頂いた、長崎県佐世保市本興寺内
松本経永上人

活動内容としては、ご住職をはじめ各上人の御法話、お経の練習、仏事等の作法、写経を行い、十二月には総供養施餓鬼会に合わせ特別講演として長崎県佐世保市社会福祉法人つばさ会「大野保育所」所長でもあられる佐世保市本興寺内「松本経永上人」を講師にお迎えし、現場から見える子育ての問題点や子供への接し方、教育についての心構え等について詳細にお話頂きました。

さて、近年皆様もご存知のように、毎年のように起きる大規模な自然災害に加え、世界を巻き込む事件や様々なトラブルが数多くあります。私達はこのような時こそ自らの心を冷静に保ち物事を正しく見る心を養うことが必要ではないでしょうか。

今、日蓮宗宗門では「いのちに合掌」の運動が展開されており、人々がお互い合掌の心・敬う心つまり「但行礼拝」の心で接する事が出来れば争いの無い世界が実現するのではないのでしょうか。

私ども、信行会では日蓮大聖人が遺された御題目を一心にお唱えし、教えを勉強し、守り、実践していく事を目的としております。

年頭にあたり初志を忘れずにお題目の心で日々の生活が送れるように会活動を通じ皆様と一緒に学んでいければと思います。本年もよろしくお願ひ致します。

最後に、信行会は毎月第一日曜日、祈祷祭終了後十二時より約一〜二時間ほど行っております。皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

護持会より

◆護持会費納入について◆

月額 1,000円

一年間 12,000円

会費納入はいつでも受付けています。

宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年
慶讃記念事業について

事業担当長

臼井 義光

●今後予定されている事業

- 一、宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年報恩慶讃大法要奉行（未定）
- 二、住職入寺晋山式法要（未定）
- 三、徒弟教育の支援（未定）

◆第二期事業

追加工事について

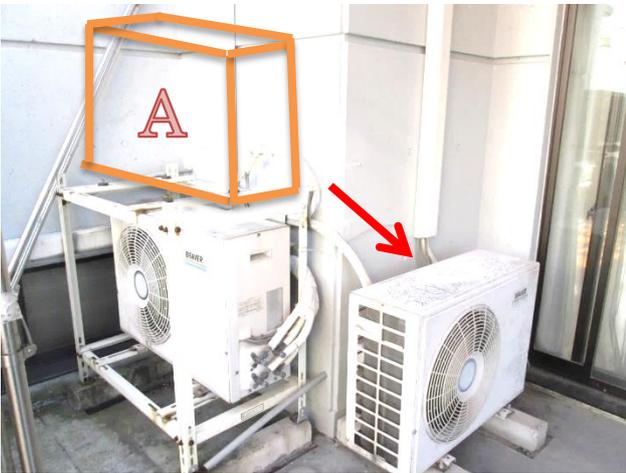
●工事内容

- 一、庫裡三階エアコン室外機移設工事（終了）
 - 二、庫裡二階台所蛇口交換工事（終了）
 - 三、本堂一階和室エアコン取替え工事（終了）
 - 四、池・散水用井戸水配管取替え・洗管工事（終了）
 - 四、山門入口・駐車場入口段差補修工事（未着工）
 - 五、庫裡三階リフォーム工事（未着工）
- 後少々期間がかかると
 思います、御理解・御協
 力の程よろしくお願い申
 上げます。
- 宗祖御降誕八〇〇年
 慶讃記念事業委員会

記念事業追加工事照会

庫裡3階エアコン室外機
 移設工事

手前に有った室外機が使用不能となり①に有った室外機を移設しました。



蛇口の交換に合わせ、
 止水栓を取付けました



庫裡2階台所
 蛇口交換工事



本堂1階和室エアコン
取替え工事

池・散水用井戸水配管取替え工事

旧配管に付着した鉄分



裏庭側



横庭側



人と人
人と空間の調和

株式会社 アイプランニング

〒811-1313 福岡市南区日佐3-32-11

TEL/FAX 092-210-6183

建設業全般 2×4住宅

公共工事 2×4輸入住宅



元寇園教会より

元寇園教会担任

高野 英典

謹んで新春の

お慶びを申し上げます

旧年中は元寇園教会の活動に対し當山護持会をはじめ婦人会・信行会・また、ご有志の皆様にご支援ご協力賜り心より御礼申し上げます。 拝

さて、**昨年の活動**を振り返りますと毎月十七日・二十三日の施餓鬼会の他に一月二十日より二月二日まで二週間の寒修行行脚（志賀島一周）、六月十七日「さつま芋苗植え会」（三十二名参加頂きました）、

十一月十二日「秋の芋掘り収穫祭」（二十八名の参加を頂きました）。

今年**は防獣対策**を万全（前号にて紹介）にしたことで約五〇〇kg（写真）程のさつま芋を収穫する事ができ、参加していただいた方々にたくさん持って帰って頂くことができました。

収穫された沢山のさつま芋



また、十一月二十三日には十一名の方に参加頂き玉葱の苗植えを兼ねて内裏庭（石積み庭）の大掃除を、同二十六日にはご有志の方六名にて本堂内と参道の大掃除をしていただきました。

たくさんの方のご協力以上の活動をする事ができました。ありがとうございました。

また、**昨年一年間の主な事業**としては
四月、山鹿円頓寺様本堂大
改修支援

同、元寇園教会内広間押入れ・茶の間壁並に
周辺の廊下敷居等の
修復

五月、芋畑の防獣対策用メッシュガードフェンス等の設置

七月、九州北部豪雨災害支援

十月、参道脇のり斜面山林雑木の伐採（業者にて）

十一月、御宝前御守護神「鬼子母尊神」勧請
等をさせて頂きました事
をご報告いたします。

本年も寺族一丸、元寇園教会の復興と発展に努めてまいります。

本年も檀信徒の皆様方のご参拝をお待ち致しております。

再拝

パンチ



今年は成年です。早く一人（犬）前の番犬になるようガンバります。みんな会いに来てネ！ 迷犬パンチより

日蓮大聖人のおことば ⑬

おもんすどのにようぼうごへんじ 重須殿女房御返事

抑も地獄と仏とはいずれの所に候ぞと
たずね候えば、或は地の下と申す経もあり、
或は西方等と申す経も候。しかれども
委細にたずね候えば、我等が五尺の身の
内に候とみえて候。さもやおぼえ候事は、
我等が心の内に父をあなづり、
母をおろかにする人は、地獄其人の
心の内に候。譬えば蓮のたねの中に
花と菓とのみゆるがごとし。
仏と申す事も我等の心の内におわします

(聖寿五十九歳)

現代語訳

さて、地獄と仏とは、どこに存在するのかと探求したとき、あるいは(地獄は)地の下にあるという経文もあり、あるいは(仏は)西方等におられるという経もあります。しかしながら、詳細に探究してみると、私達の五尺の身の内に(地獄も仏も)存在すると説かれています。そんな

ふうかもしれないと思われることは、私達の心の中に父を侮(あなど)り、母を疎(おろそ)かにする人は、地獄がその人の心の中にあるということです。たとえば、蓮の種の中に花と実とが見られるようなものです。仏というのも私たちの心の中にいらっしゃるので



日蓮大聖人 祈る慈母の治病の最愛

自らの生き方を振り返った時、己の心の中にも地獄があったことに気付くのが信仰の原点ではないでしょうか。

その時、同時にご本仏釈尊に生かされてる自分が見えて来ることでしよう。それが信仰の喜びというものかも知れません。

そのための第一歩は己を謙虚に省みることではないでしょうか。



地獄絵図

※重須殿女房

重須は地名で、駿河国富士郡重須郷（静岡県富士宮市北山）に居住した石川新兵衛入道の妻で大聖人の最有力信者の一人、南条時光の姉あるいは妹と伝えられる。

本書は餅や菓子のお供養

の礼状に添えて、地獄と仏について教え、いずれも所在は我らの心の内にあることを説かれています。

投稿欄



参考資料

『日蓮宗事典』
日蓮宗妙昌寺法話『明日の糧』

熊本震災復興支援

団参に参加して

総代 村上 英子

昨年、九月二十九日から三十日までの一泊二日で西筑組門中会主催の熊本震災復興支援団参に英典上人をはじめ檀家の皆さん合わせて十名にて参加させて頂きました。今回の団参は今までの神社仏閣や観光地を巡る団参とは

違い、一昨年（平成二十八年）の四月十四日、十六日の両日に発生した熊本地震で甚大な被害を受けた「熊本城」「本妙寺」「阿蘇神社」等を巡り山鹿の圓頓寺様に参拝させて頂く団参でした。

初日は、加藤清正公が築城された熊本城へ、正しくテレビ等の報道で見た基礎石の土台が崩落して僅か一列だけ残った基石を支えられているお城を目の当たりに見て災害の大



復興再建工事中の熊本城

きさに驚くばかりでした。また、ボランティアガイドの方に、熊本城の歴史や今回の地震での被災状況について丁寧に説明していただきました。因みに熊本城が全て復興再建するまでは約三十年ぐらいかかるそうです。

くさんの灯籠や石塔はほとんどが倒れ、未だに手つかずの状態でした。私は膝が悪く数人の方と共に車で上がらせて頂きました。



本妙寺浄池廟受付前にて記念撮影
(筆者・左から3番目)

上の「浄池廟」内でご住職の御開帳のお経があがる中全員お焼香をさせて頂きました。帰りに下の大広間でお茶の接待を頂き、本妙寺を後にし車窓から益城町等の被災地を見ながら今晩の宿のホテルへと向かいました。

ホテル到着後、災害ボランティアで復興支援コーデイネイターの「前原士武」氏の講演があり災害が起きた時の「救助」「ボランティア活動」「支援活動」「復興」までの経過等についてのお話がありました。そのあとは広い会場で参加者全員での夕食を兼ねた懇親会があり、清興では我らが伊藤敏夫護持会会長がカラオケで自慢の喉を披露されました。

二日目は、ホテルを九時に出発し阿蘇神社へと向かいました。テレビ等で何度も観た屋根が落ち倒壊した楼門や拝殿はすでに解体されており、私達は新しく建てられた仮拝殿内で復興祈願のお経を全員でお唱えさせて頂きました。阿蘇ファームランドで

昼食とお土産を買い山鹿へと向かいました。



阿蘇神社仮拝殿に於いて
復興祈願法要の様子

圓頓寺様では現在、今回の地震や老朽化に伴う本堂の大改修中でしたので、大広間の仮本堂での御開帳でした。ご住職を御導師に、甘木大安寺の秋吉上人と當山修徒の松尾上人が脇僧を勤められました。御開帳の後、ご住職より圓頓寺の沿革の説明があり続いて現在進行中の本堂大改修について総代様と設

計士、施工業者の方より詳しく説明があり、歴史あるお寺の建物の改修は大変だなと思いました。そのあと工事中の本堂を外から見せて頂き帰りの途につきました。



平成の大改修中の圓頓寺大本堂

私は今回の熊本震災復興支援団参加させて頂きテレビや新聞等の報道で観るのとはまた違い、被災地を目の当たりにして一層心に感慨を抱きました。

樋口さん母娘がいらないのがとても残念に思いました。畑脇の道端にオキザリスの花が咲いているのは川迫さんが植えたと聞いて少し頂いて帰りました。今、家の鉢で花を咲かせています。

お昼を皆さんで頂きながら、今日十二日は私達夫婦の結婚四十七年目の記念日でした。その日に御縁があるのも感慨深いものがありました。

英典上人御家族、一族の方々は朝早くから準備が大変だったと思います。御礼申し上げます。

楽しい一日を過ごさせて頂きました。残念なのは御宝前でゆっくりお参りしたかったと思いましたが、何もかも初めての事で無我夢中で余裕がなく反

省しています。次の時はしっかりとお参りさせて頂こうと思つています。

元寇園教会の管理は大変だと思いましたが、皆様の協力が無いといけないうと思つていました。私も少しでもお役に立つ事があれば頑張つて協力して行きたいと思つております。

帰りは沢山のお芋と英一上人手作りのジャム迄頂いて帰つてきました。近所の人にも配つて喜んで頂きました。

英典上人をはじめ参加された皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



『善行の功德』
信行会 高原 靖子

昨年十一月十二日、総勢三十八名の方々と志賀島の元寇園教会に芋掘りに行かせていただきました。その日はとても気持ちの良い秋晴れで皆笑顔がこぼれておりました。

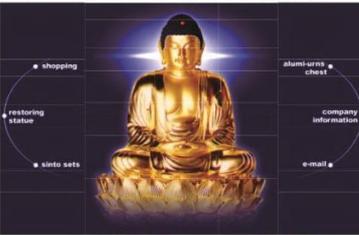
元寇園教会でお参りをさせて頂いた後、皆でお芋畑に向かいそこで久しぶりに英一上人にもお会いし、お元氣なご様子で大変うれしく思いました。

お芋畑は猪等の被害を受けにくい様、電気柵やフェンスで囲まれ又野鳥よけの電線などでしたっかりと大切に守られていました。

心と心のふれあいを大切に



MATUSITA.net



shopping
restoring station
sinto sets

alumni-urns chest
company information
e-mail




熊本店

お安い費用で、お仏具修復

株式会社 松下仏壇店

熊本店／熊本市上水前寺1-12-12 (東パィナス熊工前) 096-384-5666
 玉名店／玉名市中1832 (玉名高校前) 0968-74-4840
 山鹿店／山鹿市大橋通り404 0968-43-5665
 本店／大牟田市上町2-2-4 (上官通り) 0944-56-3675



熊本店

<http://www.matusita.net>

さつそく鍬で畑を掘り起こしますとお芋が出てくること、出てくること。皆夢中になって収穫しました。



芋掘りを楽しまれる高原さん（左側）

この日を迎える為に、英典上人や英一上人そして奥様がこのお芋を守るために真夏の草取りなど、陰のご苦労は大変なものだったであろうと想像でき、頭の下がる思いです。

文永の役、弘安の役の二回に及ぶ元寇・蒙古襲来で

おびただしい数の船が沈み双方の死者の鎮魂の為に建立された元寇園教会。供養や追善とは、善い行いした功德を亡き人に廻らす事を言うのだそう、私達が、直接的な鎮魂だけに考えを狭める事をせず、広く善根を積むことによつて善い報いとなつて亡き人に廻らすという善行は功德となるのだそうです。私も、大切なご供養の小さな助に加えて頂いたのかなあと思いながら帰路につきました。

後日、妙教寺でのお施餓鬼供養会の時に、檀家の皆様が持つて帰れるようお芋を袋に入れてお玄関にたくさん置いてありました。檀家の方々に喜んで頂けるお手伝いを少しでも出来ました事をうれしく

思います。

又、来年もお芋の苗植えから参加させて頂きたいと願っております。

お上人をはじめ、元寇園教会でおとき供養のお手伝いをなさっておられました方々には、たいそうな御接待を頂きありがとうございました。南無妙法蓮華經



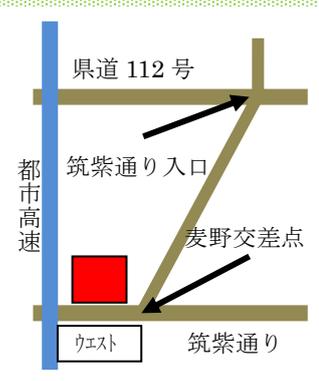
炎天下の中ご有志の方々による芋畑の草取り作業





スマイル車検

民間車検工場
井上自動車株式会社
福岡市博多区麦野 1-1-38
TEL : 092-581-4607
FAX : 092-581-4796



県道 112 号
都市高速
筑紫通り入口
麦野交差点
カエスト
筑紫通り

『随自意(ずいじい)』

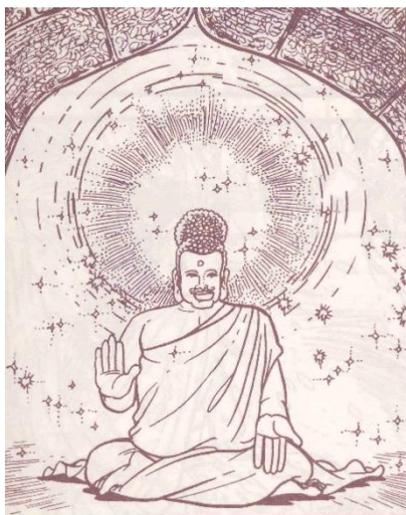
龍王寺副住職 福山 浄瑛

私達が普段いつも手を合わせお唱えしているお題目とはどういう意味があり、何の為に唱えしているのだろうかと疑問をもたれたことはありませんか？

お題目とは皆様ご存知の『南無妙法蓮華經』のことです。このお題目の五文字の「妙法蓮華經」はお釈迦さまが説かれた教えである「法華經」のことをいいます。

お釈迦さまの説かれた教えは法華經以外にも一切經といわれるたくさんあるの經典があります。

お釈迦さまは私達に真実の教えである法華經を



弟子・信者に法華經を説かれるお釈迦様

最初から説いても私達は
その教えが難しく、理解
しわかってもらえないと
考えられて、あえてお釈迦
さまは、わかりやすくやさ
しい教えから徐々に説い
ていきました。最後にお
釈迦さまが本当に説きた
かった真実の教えである
法華經を教え示されたの
です。これを「随他意教」・
「随自意教」といいます。

「随他意教」(ずいたい
きょう)とは「他の意(こ
ころ)に随った教え」のこ
とです。法華經以前に説か
れた教えのことで、お釈迦
さまがご自身の本心では
なく、相手の意(こころ)
に合わせて説かれた教え
のことです。つまり、法華
經の説法に導く準備・方便
の段階で、これまでの經典
では、お釈迦さまは弟子の
質問に答える、という形の
説法ばかりだったのです。
日蓮大聖人は『顕謗法抄』
(けんぼうぼうしよう)の

中で「法華經以外のお經は、
お釈迦さまの言葉であつ
ても、それはお釈迦さまの
心ではなく、相手の心をの
べたものである」とおっし
やっています。随他意、つ
まり相手の意(こころ)に
合わせて説かれたお經だ
からです。

それに対して「**随自意
教**」(ずいじいきょう)と
は法華經のことです。「自
らの意(こころ)に随った
教え」という意味で、法華
經とはお釈迦さまそのも
の全てが説かれている真
実の教えであるというこ
とです。

お釈迦さまが、ご自身の
慈悲の心も、悟りの智慧も、
救済の力も、具(そな)わ
る功德も、つまりご自身の
意(こころ)を全て込めて、
そのまま遠慮なく打ち明

けられたのが随自意の教えである法華経なのです。次に『南無』という言葉の意味は「あなたに従います。全てあなたにお任せいたします。信じ切ります。」という意味でとても大切な誓いです。

つまり、私達がいつもお唱えしているお題目には【お釈迦さまのみこころが全て説かれた真実の教えである妙法蓮華経を信じてその教えを信行します。】という誓願の意味があるのです。

私達自身がお釈迦さまのおもちである意(こころ)に近づけるために、これからもお釈迦さまの説かれた真実の教えである法華経を信じて、その教えを実践しコツコツと少しずつでも良いので継続

しお題目をお唱えし続けていきましょう。



當山お会式で法話をされた福山浄瑛上人



編集部より

妙教寺だより編集部では、皆様からの投稿を、募集致しております。内容はお寺の行事についてまたは、体験談や疑問・質問などよろしくお願いたします。

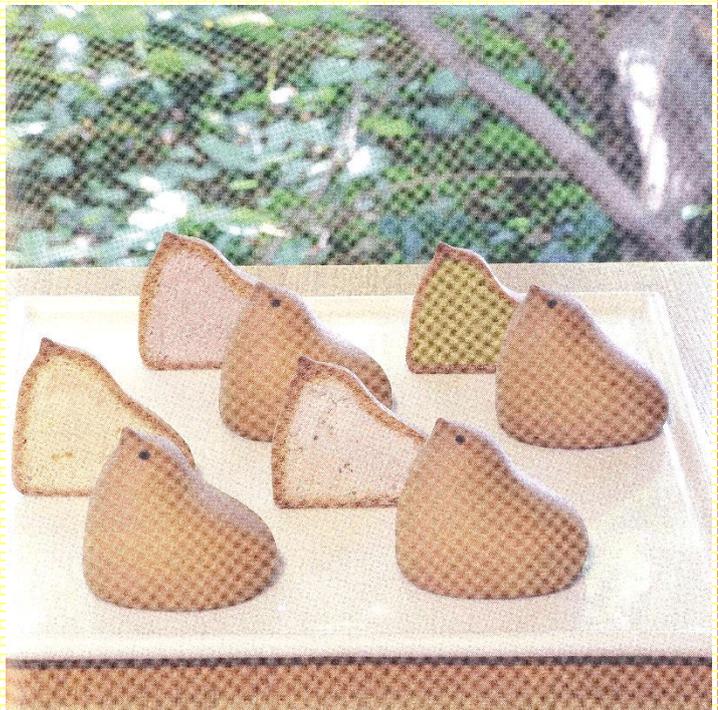
当店おすすめ商品

とき

季ひよ子 福岡限定商品

- はなやぎの春 桜ひよ子
- さわやかな夏 茶ひよ子
- たわわなる秋 栗ひよ子
- ぬくもりの冬 苺ひよ子

- 3個入り袋 432円 (本体価格 400円)
- 7個入り 1,080円 (本体価格 1,000円)
- 11個入り 1,620円 (本体価格 1,500円)



名菓ひよ子 イオン大野城店
大野城市錦町4丁目1-1 イオン大野城1階
TEL・FAX 092-592-2126

檀信徒様のお買い上げは、当店に限り10%引きとさせていただきますので、ご気軽にご来店下さいませ。お待ちしております。

お上人さん教えてください！

日蓮宗ポータルサイトより

Q 檀家なのですが、両親が亡くなつてしまい、お寺との付き合い方がわかりません。まずどのようなすれば良いでしょうか。

Q ご先祖様の位牌が多くなり、仏壇には並ばなくなつてきたのですが…

Q 仏壇には「ご本尊(ほんぞん)を奉安する」といわれますが、その「ご本尊」とはなんでしょうか？

Q お寺は、お坊さんのものなのですか？

Q 檀家なのですが、両親が亡くなつてしまい、お寺との付き合い方がわかりません。まずどのようなすれば良いでしょうか。

A お寺にご相談ください。いや、決まりごとなどを住職や寺族じぞくなどがお伝えします。また檀信徒の取りまとめ役として総代さんという役職があります。住職に相談しにくい場合、まず総代さんに聞いてみることも一つの方法かもしれません。

A 位牌が多くなりすぎたら、古いご先祖様から順次過去帳に記入していただく。過去帳をご本尊の一段下の中央に置き、両脇に新しいご先祖様のお位牌を祀って下さい。過去帳がない場合は菩提寺のご住職にご相談ください。

A 日蓮宗の私たちが、信仰し、礼拝し、帰依する根本の対象です。そもそも、「本尊」という漢字で表す文字の意味は、いろいろあります。

A いいえ。お寺は住職や檀信徒だけのものではなく、社会全体のもので。ただ、お寺は「法華経の教えを伝え、生活に活かしてもらう」目的をもった施設です。その活用のために住職がい



日蓮宗の過去帳

・ もともと (本来) 尊い
仏さま (本来尊重)
・ 根本として尊敬し、崇拜する仏さま (根本尊崇)
・ すべてのものが本来もっている尊い姿 (本有尊形)
これらを要約すれば「本尊」という二文字になるわけです。

婦人会より

★婦人会費納入について★

一年間 2,400円

会費納入はいつでも受付けています。

問合せ 092(581)1266

行事スナップ



10/8 お会式桜作り
檀信徒有志の方約 20 名の
参加がありました



9/29～30 熊本震災復興支援
団参 宿泊先のホテルでの懇
親会の様子



9/29～30 熊本震災復興支援
団参 山鹿圓頓寺での御開帳
法要の様子



11/12 元寇園教会唐芋収穫
祭 3 歳の子供さんも参加
されました



11/12 元寇園教会唐芋収穫祭
収穫後の昼食会での様子



11/12 元寇園教会唐芋収穫
祭 今年は當山より 38 名の
檀信徒の方が参加されまし
た



12/27 お正月お供え用餅つき
搗きあがった餅を丸める檀信徒
の皆さん



12/24 年末総供養会
信行会主催特別講演 本年は
佐世保市 本興寺内 松本経永
上人よりご法話を頂きました



12/17 當山年末大掃除
檀信徒有志約 40 名の方々の
参加がありました

宗祖日蓮大聖人御降誕 800 年慶讃九州教区大会

日程：平成 30 年 11 月 28 日（水曜日）

会場：福岡市博多区 福岡サンパレス

平成30年行事予定(1月～8月)

◎1月21日(第3日曜)

午前10時より

・ 婦人会主催寒修行

◎2月4日(第1日曜)

午前10時より

・ 月祈祷祭、節分追儺会

◎2月25日(第4日曜)

午後1時より

・ 月施餓鬼供養会

◎3月4日(第1日曜)

午前10時より・月祈祷祭

◎3月18日(日)～24(日)

早朝より

・ 春季彼岸棚経廻り

◎3月25日(第4日曜)

午後1時より

・ 春季彼岸施餓鬼供養会

◎4月1日(第1日曜)

午前10時より・月祈祷祭

◎4月15日(第3日曜)

午後1時より

・ 花まつり 釈尊降誕会

・ 月施餓鬼供養会

◎5月6日(第1月曜)

午前10時より・月祈祷祭

◎5月27日(第4日曜)

午後1時より

・ 月施餓鬼供養会

・ 各家勧請守護神祭

・ 平成30年檀信徒総会

◎6月3日(第1日曜)

午前10時より・月祈祷祭

◎6月17日(第4日曜)

午後1時より

・ 月施餓鬼供養会

・ 順教院日英法尼

第七回忌法要

◎7月1日(第1日曜)

午前10時より・月祈祷祭

◎7月22日(第4日曜)

午後1時より

・ 土用丑秘法ほうろく灸

・ 祈祷会

・ 月施餓鬼供養会

◎7月29日(第5日曜)

午前9時より

・ 盆前大掃除

◎8月5日(第1日曜)

午前10時より・月祈祷祭

午後12時より

・ 三沢清正公堂大掃除

◎8月7日(火)～15日(水)

早朝より

・ 孟蘭盆棚経廻り

◎8月19日(第3日曜)

午後1時より

・ 孟蘭盆施餓鬼供養会

※行事予定日・時間は、変更させて頂くことがありますので、事前に発送します案内でご確認下さい。

◎毎月第1日曜日は

・ 信行会 (12時より)

(1月・8月は

諸行事の為休みます)

・ 12月の信行会は特別講演となります

・ 三沢清正公堂お参り (午後より)

《御霊屋・納骨堂 加入者募集》

○近代的格調高い

○耐久性にすぐれる

○御先祖様をおまつりするのに
相応しい荘厳な佇まい

※一時払い不可能な方は、分割払い制度をご利用下さい。

※詳しくは、お寺又は護持会事務局までお問い合わせ下さい。

春日山 妙教寺 092-581-1266

発行所 非売品

大野城市錦町二丁目一番二七号

春日山 妙教寺

○九二(五八)一二六六